

○内容はどのように改善されたか。

1 内容の構成

音楽科の内容は、次のように、「A表現」、「B鑑賞」及び〔共通事項〕で構成されている。

現行学習指導要領	新学習指導要領
「A表現」 (1) ア、イ（＝歌唱に関する内容） ウ（＝器楽に関する内容） エ（＝歌唱と器楽に関する内容） オ、カ（＝創作に関する内容） キ、ク（＝要素に関する内容） (2) 表現教材 ア、イ	「A表現」 (1) 歌唱に関する内容 ア、イ、ウ (2) 器楽に関する内容 ア、イ、ウ (3) 創作に関する内容 ア、イ (4) 表現教材 ア、イ
	「B鑑賞」 (1) 鑑賞に関する内容 ア、イ、ウ (2) 鑑賞教材
「B鑑賞」 (1) ア、イ（＝要素に関する内容） ウ、エ（＝鑑賞に関する内容） (2) 鑑賞教材	〔共通事項〕 (1) 要素に関する内容 ア、イ

2 改善のポイント

- 「A表現」については、歌唱、器楽、創作ごとに事項を示すとともに、現行の「A表現」(1)のキ、ク及び「B鑑賞」(1)のア、イに相当する内容を一つにくくり、〔共通事項〕として新たに設けた。
- 〔共通事項〕については、歌唱、器楽、創作、鑑賞の各活動の支えとなるものであり、表現及び鑑賞の各活動と〔共通事項〕とを関連させて指導することとした。
- 歌唱については、例えば「①歌詞の内容や曲想を感じ取り、②表現を工夫して③歌うこと」（第1学年「A表現」(1)のア）と示し、①感じ取る対象、②思考・判断、③歌唱による表現の三つの視点で構成した。このような各事項における構成の考え方は、歌唱の他の事項や、器楽、創作、鑑賞の各事項においても同様とし、それぞれの学習の特質に応じて示した。